

豊かでほっこり、

石岡市ではじめる

暮らしの物語。



石岡くらし

茨城県石岡市 移住定住

Guide
book



石岡市を楽しむ

人も、自然も、魅力的

見所満載の石岡市で

暮らしてみませんか？



石岡市の暮らし

石岡市には、その風景や環境が気に入って農業を始める人や、休日にはスカイスポーツや登山、釣り、サイクリング、自然の中で思いっきり子どもと遊ぶことなどを楽しみながら、周辺のつくば市や土浦市、水戸市をはじめ、首都圏へ通勤通学している人が多く暮らしています。あなたもそんな石岡市の暮らしに触れて、自分らしい暮らし方を考えてみませんか？

石岡市は、茨城県のほぼ中央に位置し、古くから商都として栄えました。霞ヶ浦の水辺を有する石岡地区と、筑波山系に囲まれ里山の風景を残す八郷地区があります。

首都圏からは、常磐自動車道、国道6号、JR常磐線などを使い、60分程で来ることができ、北関東自動車道や茨城空港、圏央道なども近

郊に位置していることから交通が便利です。観光の見所も多く、毎年40万人超の出入がある「石岡のおまつり」や、令和3年春にリニューアルする「いばらきフラワーパーク」、子ども連れに人気の「朝日里山学校」、桜の名所の「常陸風土記の丘」のほか、果樹園や昭和レトロな街並みなどがあります。

CONTENTS

PAGE. 2 石岡市を楽しむ

インタビュー

PAGE. 4 1. 藤田陽子さん

PAGE. 6 2. ブックカフェえんじゅ

PAGE. 8 石岡市の支援と取組み



JR常磐線 特急ときわ
東京駅
⇕
石岡駅



常磐自動車道
東京方面
⇕
千代田石岡I.C.
石岡小美玉スマートI.C.

東京近郊！
通勤・通学も
あんしん。

東京方面から
車または
電車で 約
60分



Interview

1



『母と子』の そのままを 大切に場所

「お散歩中、通りすがりのおじいちゃんやおばあちゃんに、よく温かい声を掛けて頂くんです。そんな「ゆるやかなつながり」を感じながら子育てができるのは、すごく安心感があります。」

藤田 陽子 (ふじた ようこ)

埼玉県出身。大学時代に始めたハングライダーがきっかけで石岡市を知る。卒業後、隼ヶ崎市の乗馬クラブに勤務し、装師師の旦那さんと知り合い、結婚。稲敷市に10年ほど暮らし、2013年に石岡市へ移住。現在は、子どもの居場所「やさとおおぞら」の運営を行う。旦那さんと2人の娘さんの4人暮らし。

やさとおおぞら

概ね、週1〜2回の平日の活動と月に1回ほどの週末の活動。活動予定はその月ごとにFacebookページでお知らせ。

☎ 090-8478-8914 (藤田)
✉ yasatoaozora@gmail.com



ホームページ



Facebook

「いろいろな人と関わる中で、子どもたちが自分の居場所と思える場所をつくってきたい」と話すのは、石岡市へ移住して、おおぞらの代表も務める、藤田陽子さん。おおぞらは固定のメンバー制ではなく、来たい人は誰でも「森のあそび場」と、体験する事と対話を楽しむことから学ぶ「森のまなびや」の二本柱で活動をしています。

やさとおおぞら

代表 藤田陽子さん

移住の理由は「自分たちの手で、暮らしをつくり出した」という夫婦の夢

——陽子さんの自宅は、学生時代、ハンブグライダーで飛び立っていた山のふもと。考えると「不思議な縁」と話します。

私たち夫婦は、『自分の手でつくること』が好きなタイプ。結婚当初から、ジャージー牛や鶏など色々な動物を飼い、たくさん果樹を植えて、自分たちの土地でとれたもので食事を出すような観光農場をつくりたいという夢を描いていました。移住のきっかけは、乗馬施設をつくるために土地探しをしてきた夫の知人から『広すぎる位の牛の牧場跡地を見つけたので、一緒に分割購入しませるか』とお誘いを受けたんです。



平成21年に購入し、建築士のアドバイスを受け、牛舎を住居に改築する作業をスタート。居間に置かれた引き出しの取っ手は、なんと馬のひづめにかぶせる蹄鉄です。これは装蹄師の旦那さんの手づくり。そして、お風呂場の壁には、娘さんたちの記念の手形。

「大切にしたい価値観」を共有できる仲間ができた

——移住の準備などで子どもたちとの時間を十分取れないこともあり、「自分がやっていることは、これで良いのか」と迷いや悩みもあったと話す陽子さん。

そんなときに、八郷地区にある『暮らしの実験室』という農場のスタッフの方と出会い、『自分の手で、暮らしをつくりたいという思いを共有できる人たちがいる』ということに救われました。自分のやっていることへの価値を見出せたんです。これをきっかけに、地域に知り合いが増えて、仲間がたくさんできました。その中には、自然の中で子育てをしたいと思うお母さんもいて、「あおぞら」を始めるきっかけにもなりました。

みんなで作る子育ての場

——大人が教え与えることよりも、子どもたちが自らの五感で感じることや子ども同士の気持ちのやりとりを大切にしている「あおぞら」が、もう一つ大切にしていること。

お母さんが、気持ちを緩められる場でありたいと思っています。お母さんが、いつも「〇〇」なんて無理。だから、悩みを共有したり、自分とは違う接し方にヒントをもらったり、大丈夫だよと励まし合ったり、『それイライラするよね！』と共感したり（笑）。子どもの個性をそのまま受け止めて、のびのび育てていくためには、お母さん自身の、そのままを受け入れ合い、支え合える場所が必要です。

お母さんたちのこんな子育てがしたいという夢も、現実の葛藤や悩みも。お互いを認め合いながら、みんなで一緒に子育ての場をつくっていきましょう。陽子さんの周りには、そんな温かい空気が満ちていました。

Interview 2

人と人の縁を
つないでいく



里山の古民家



左:野村眞一さん 右:木崎早苗さん



「やすらぎに来る地元のお母さんや、相談に来る移住希望の方など、「ブックカフェ えんじゅ」には、様々な人が訪れます。」

ブックカフェ えんじゅ

にほんの里100選にも選ばれた八郷地区に、月4回限定でオープンする古民家を活用した「コミュニティスペース」があります。名前は「ブックカフェ えんじゅ」。夏場は、家の前のえんじゅの木が涼しげな木陰をつくり、冬場は暖かな木漏れ日が縁側に差し込みます。迎えてくれるのは、オーナーの木崎早苗さんと、八郷地区のことなら何でも知っている野村眞一さん。

木崎さんは教員の仕事を退

職した後、空き家だった古民家を改修し、「ブックカフェ えんじゅ」を始めました。

えんじゅには、八郷や近隣地域を中心に様々な人々が集まります。たとえば、陶芸や木彫、漆などの作家さんや職人さん、大学の先生に、子育て中の若いお母さん。石岡市に移住した人が「えんじゅに行けば誰かとつながれる」と訪ねてきたり、移住希望の人が石岡市の情報を得るために訪ねてくることがもしばしば。



ブックカフェ えんじゅ

茨城県石岡市上青柳 78

毎週土曜日

10:00 ~ 16:00

※カフェ

→ 1月・8月休み

トークサロン

→ 1月1回、第4土曜日



Facebook

退職後に見えてきた、
地域のこと

—「ブックカフェえんじゅ」をはじめられたきっかけを教えてください。

結婚後も教員の仕事を続けていたので、地域の付き合いは義父母がやってくれていました。地域のことをいろいろと考えられるようになったのは退職後です。

初めは、空き家になっていた古民家を借りて、お花見やお茶会を企画し、友人を招いたんです。すると、みんなが『ここはいいなあ。気持ちがあゆっくりする』と絶賛。その様子を見て、この地区の素晴らしいと感じました。

それで少しだけ人の輪を広げてみようとして、石岡市と流山市で二地域生活を送る野村真一さんと一緒に、月に数回、「コミュニティスペースのような家を開く」ことにしました。

より良い関係を紡ぐ
そんな場所になるように

—夢を叶えるために、石岡市への移住を考える方達へ。

現在、私の住む地区の班は11軒あるのですが、その半分は移住された方たちです。地区の人口が減っていく一方で、若い家族も引越して来られます。地元の人たちとは、徐々に親しくなっていく感覚で、『何かをしてあげる—してもらう』という関係ではなく、『お互いにより良い影響を与え合う』関係です。

以前、移住希望の女性がえんじゅに來られた際に「普通は、難しいんじゃないかと心配するけれど、ここへ来て相談すると、こんなこともできるよ、こんな人がいるから相談してみるといいよと、提案をしてくるので、とても勇気づけられます」と話してくれました。これからも、そんな場になれたらと思います。



R3.2.27 第4回トークサロン 舟田靖章氏

えんじゅでは、毎週土曜日のカフェの他、ミニコンサート、子育てサークルのイベントなど、古民家の空間を生かした様々な催しが行われています。

令和2年4月からは、毎月1回のペースで「えんじゅトークサロン」が始まりました。八郷地区の生物や生態系の話郷土史、在宅医療、トレイルウォーク体験談等々、そのテーマも、えんじゅに集う人々を反映して本当に様々です。こうしてトークサロンの豊かな時間の中で、そこに集まる人々の中から、さらに人と人との新しいつながりが生まれています。

「こういう暮らし」という明確なイメージを持って移住すると、地域にも馴染んで、より幸せそうな感じがすると話す木崎さん。「えんじゅ」を拠点に、移住希望者と地元の人との、より良い関係が新たに紡がれ始めています。



移住者・子育て世帯にあんしんの 石岡市の支援と取組み



住まい

住まいづくり
推進事業

住宅建築費用の助成
最大 **40万円**

子育て・新婚世帯
新生活支援補助金

住居費や引越費用の
一部を補助
上限 **30万円**

しごと

創業支援

創業支援セミナー
など

手厚い
就農支援制度

研修農場・設備助成
など

子育て

(市立小)
第3子以降
給食費無料

ランドセル給付

チャイルドシート
購入補助

POINT

こんな
お得な支援も

東京圏へ
通勤・通学する方へ
支援制度

ウィークリー特急券・
通学定期券
の費用を助成

他にも、
支援・助成制度
多数あります！

詳しくは下記HPを
チェック

DATAで見る石岡市

東京とほぼ同じ
気候で
暮らしやすい

気 候

年間平均気温

13.8
°C

年間降水量

1,247.0
mm

年間日照時間

1,830.2
時間

東京都(千代田区)

16.2°C

1,517.0 mm

1,868.2 時間

気象庁メッシュ平均値2010

平均家賃

石岡市

42,227円

全国

55,675円

茨城県

45,245円

埼玉県 59,345円

千葉県 57,401円

東京都 80,995円

特別区部 86,981円

神奈川県 68,102円

総務省「H30住宅・土地統計調査」

住宅敷地面積

(1住宅あたり)

茨城県

全国 **1位**
(395㎡)

広い家で
暮らせる

東京都 46位 (138.8㎡)

総務省「H30住宅・土地統計調査」

小売事業所売場面積

(茨城県44市町村中の順位)

石岡市

10位

買い物が
便利

詳しくはコチラへ

移住定住ポータルサイト
「MIPPE(みっぺ)」



子育て応援ポータルサイト
「てとて」



石岡市公式ホームページ

